

令和4年度行政評価・外部評価結果について

1. 外部評価の目的

市で行った行政評価（内部評価）の妥当性を、専門的な見地や市民の目線から検証することで、客観性を確保するとともに、第5次総合計画を効果的・効率的に推進し、めざす将来都市像の実現を図る。

2. 評価対象及び実施方法

第5次総合計画基本計画の全38施策を対象とし、河内長野市行財政評価委員会において外部評価を行った。38施策のうち、重点施策として選定した3施策は会議で評価を行い、その他の35施策は書面にて評価を行った。

【令和5年度重点施策】

- ・ 施策 No. 6 地域福祉の推進
- ・ 施策 No. 10 健康づくりの推進と医療体制の充実
- ・ 施策 No. 14 青少年の健全育成の推進

3. 評価方法

市内部で行った施策評価結果を、以下の視点により評価し、各施策を「**妥当**」、「**概ね妥当**」、「**要検討**」のいずれかに分類する。

【視点1】 住みよさ指標、10年後のめざす姿に対する達成度

- ・ 施策評価シートの記載内容について妥当性を検討

【視点2】 施策の展開及び事業の実施内容の妥当性

- ・ 施策を推進するために取り組んでいる事業が、施策の目的達成につながるものであるか、実施手法は妥当であるかを検討

4. 評価結果

別紙「令和4年度行政評価・外部評価結果一覧」のとおり

(別紙)令和4年度行政評価・外部評価結果一覧

No	施策	評価区分	意見・コメント
1	危機管理・防災対策の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・ 妥当 2 ・ 概ね妥当 3 ・ 要検討 0 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 行政側の対策は指標をみても順調であるが、住みよさ指標にみる市民側のデータが伸びていない。住民自治を活性化させる政策に弱点があるように思える。 ・ 昨年度も指摘したように「誰も取り残さない」災害弱者への対応強化の明示、さらには一定期間が経った時点で、2024年1月発生の能登半島地震の教訓を検討し、本市における災害対応改善に活かされることが期待される。(山がちな地形を有する本市におけるライフラインの耐震化等) ・ 住みよさ指標の値はそう悪いわけではなく、他の項目と比較してEは厳しい評価のように思える。 ・ 市内の危険地域から優先してハザードマップを作成した所から妥当。
2	消防・救急・救助体制の強化	<ul style="list-style-type: none"> ・ 妥当 2 ・ 概ね妥当 3 ・ 要検討 0 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 防災・防火・防犯・安全は総じて住民自治の協力・役割分担が充実しなくては成果が出ない。住民自治を活性化させる政策を。 ・ いよいよ2024年4月から開始される消防広域体制に関しては、今後、効果・効率が担保されるよう注意深くモニタリングなされることが期待される。 ・ 大きく見て評価は妥当と思えるが、住みよさ指標は下向き矢印の方が多く、No.1の項目との生合成がないように思える。 ・ 消防広域化で共同作業を行うことにより体制が整うと思う。
3	防犯対策の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・ 妥当 5 ・ 概ね妥当 0 ・ 要検討 0 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 住民自治を活性化させる政策を。 ・ 犯罪が年々減少していることから妥当。
4	交通安全対策の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・ 妥当 5 ・ 概ね妥当 0 ・ 要検討 0 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 交通事故発生件数が減少していることから妥当。
5	消費生活の安定と向上	<ul style="list-style-type: none"> ・ 妥当 2 ・ 概ね妥当 3 ・ 要検討 0 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢化の進展と成年年齢の引き下げを踏まえ、今後、どのように消費者教育の内容と方法を更新していくのか、さらなる検討を期待したい。 ・ 住みよさ指標は上向きであり、Eの評価は厳しいように思える。消費生活講座の提供の仕方には工夫が加えられていると思えるが、今の時代に合った発信が望まれる。 ・ 消費者啓発情報を提供していることから妥当。

No	施策	評価区分	意見・コメント
6	地域福祉の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・妥当 4 ・概ね妥当 1 ・要検討 0 	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢化に伴う新たな人材発掘が必要となる。地域人材の高齢化に対応した次なる政策開発を期待する。 ・事業自体は妥当だと思うが、それが評価に反映されていない事には少しズレを感じる。
7	高齢者福祉の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・妥当 3 ・概ね妥当 2 ・要検討 0 	<ul style="list-style-type: none"> ・団体自治である制度福祉の負荷は高齢化社会に伴い高まるばかりであるので、住民自治による支援をもっと政策的に開発するべきである。 ・施策の方向性や内容、実際の取組についてとくに問題点があるようには考えないが、市内各地における支え合い活動には一定の偏在が存在するように思料する。そのような視点からのふりかえりと今後取組の検討も重要ではないだろうか。 ・自主支援と介護支え手が増加した事から妥当。
8	障がい者福祉の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・妥当 3 ・概ね妥当 2 ・要検討 0 	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度も「複合的な課題などの解決を図る支援体制の整備」とはどのようなことなのか、具体性がなく、分かりにくいと指摘したが、今年度も、「今後の方向性」の記述が昨年度とまったく同じであり、残念である。 ・今回の評価は妥当と思えるが、訪問系サービスの利用時間数のみが指標であることに疑問を感じる。提供するサービスにも変化があると思える。 ・障がい者を支える体制整備は予算とのかね合いが必要ではないか。
9	社会保障制度の適正な運営	<ul style="list-style-type: none"> ・妥当 5 ・概ね妥当 0 ・要検討 0 	<ul style="list-style-type: none"> ・住みよさ指標3の「生活保護現業員」とは？市民向けに公開する際には、一般にわかりやすい用語を使う必要があるように思える。 ・国民健康保険料の収納率が高いことから妥当。
10	健康づくりの推進と医療体制の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・妥当 5 ・概ね妥当 0 ・要検討 0 	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナにも関わらずこれだけの実績値を維持しているのはかなりの努力。引き続き手抜かりないようお願いしたい。 ・検診に関するイメージ改善のため、ライトアップによる啓発などを行い、包括的に進めているのはかなり好印象。フレイル予防の取り組みも、近隣の大学等と繋がりながらやっている。 ・フレイル予防など、高齢者にいかに健康な状態で長く元気にいてもらうかが大事。 ・（検診の通知なども）行きやすいものになっていっているという印象がある。

No	施策	評価区分	意見・コメント
11	児童福祉の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・妥当 3 ・概ね妥当 2 ・要検討 0 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域に於ける住民自治との連携を如何に図るかが課題と思う。 ・「今後の方向性」でも記載されているように、こども基本法の制定・こども大綱の策定を踏まえ、福祉分野を含め、国の政策が求めるこどもの声に耳を傾ける動きが本市においても検討・促進されることを強く期待する。 ・No. 9と同様に、住みよさ指標 1にある「要対協等研修」とは？ ・子育てしやすさに関する市民満足度を上げる手段が見えない。
12	子育て支援の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・妥当 3 ・概ね妥当 2 ・要検討 0 	<ul style="list-style-type: none"> ・ファミリーサポート利用回数、病児保育事業利用人数が低いのを、改善する必要がある。 ・今ある「子育て世代包括センター（ゆめっく）と子ども家庭総合支援拠点（あいっく）の連携」に関する記述は何が課題でそれをどうするのかということが分かりづらい記述になってしまっている。 ・「出生率」は施策で急激に変わるものではないと思えるので、指標にする事に疑問を感じる。 ・認定こども園の設備増は良い。
13	学校教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・妥当 3 ・概ね妥当 1 ・要検討 1 	<ul style="list-style-type: none"> ・不登校児童・生徒数が増加し、教育環境に関する満足度が低下している現状の改善が必要と思います。 ・いじめ認知件数が前年度比で倍増していることについてどのように分析・対応するのか、言及がないことはきわめて遺憾である。また、こども基本法の制定・こども大綱の策定を踏まえ、こどもの参加が本市においても促進されるとともに、それが学校教育とどのように関連するのか、検討が進められることを期待する。 ・小中一貫教育の取組みに期待する。
14	青少年の健全育成の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・妥当 5 ・概ね妥当 0 ・要検討 0 	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会・町内会など、地域コミュニティの総力をあげた政策が必要。「こども」については国の省庁が跨っていたりして整理が難しいが、総合的に取り組んでほしい。 ・青少年の社会参画に関する取組については、まだまだ内容のアップデートが必要。
15	生涯学習の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・妥当 4 ・概ね妥当 1 ・要検討 0 	<ul style="list-style-type: none"> ・現行河内長野市の図書館、文化ホール、公民館、市民交流センター他の総合的な「文化政策基本条例」「文化基本計画」「文化審議会」が必要です。今のままでは余暇社会政策でしかありません。 ・本施策に関する令和 4 年度の取組のふりかえりの結果や今後の方向性の記述は、他施策に比して、より具体的で丁寧に書かれていると思料する。 ・多種の事業にわたり取組みされている。

No	施策	評価区分	意見・コメント
16	歴史文化遺産の保存・活用及び文化芸術の振興	<ul style="list-style-type: none"> ・妥当 3 ・概ね妥当 2 ・要検討 0 	<ul style="list-style-type: none"> ・総合的な「文化政策基本条例」「文化基本計画」「文化審議会」が必要です。併せて、市民参加による「文化財保存活用地域計画」の活用・実現が求められます。 ・他課ではオンラインの有効活用によってサービスの利用者がコロナ禍前の水準に戻った（あるいはコロナ禍前の水準以上になった）ところがある。ICTの活用を可能な範囲で検討することが期待される。 ・文化遺産の多い河内長野なので市民も興味のあるものが多い。
17	生涯スポーツ活動の振興	<ul style="list-style-type: none"> ・妥当 3 ・概ね妥当 2 ・要検討 0 	<ul style="list-style-type: none"> ・障がい者のスポーツ事業はあるのでしょうか。又、学校のクラブ活動リーダーを支援するシステムを用意していく必要があります。 ・目標数には達していないものの、確実に上向きで戻りつつある。Eは厳しいように思える。 ・市民ニーズにあった施設運営を期待している。
18	人権と平和の尊重	<ul style="list-style-type: none"> ・妥当 5 ・概ね妥当 0 ・要検討 0 	<ul style="list-style-type: none"> ・同和問題を軽視していない事は評価できます。 ・オンラインの有効活用によってサービスの利用者がコロナ禍前の水準以上になったとある。関係部署のご尽力に敬意を示したい。 ・平和意識・人権問題等の講座の参加が増えている。
19	男女共同参画の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・妥当 3 ・概ね妥当 2 ・要検討 0 	<ul style="list-style-type: none"> ・もはや住みよさ指標も関連指標も、この施策では低すぎるのではないのでしょうか。 ・女性の管理職登用率が向上していることは市としての態度を明確に示しており、関係部署のご尽力に敬意を示したい。 ・庁舎内での取り組みだけでなく、広く一般にも通用するような指標がないか、考えてみてほしい。 ・市の審議会等への女性参画率30%超。さらに上昇を望む。
20	多文化共生と国際交流の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・妥当 5 ・概ね妥当 0 ・要検討 0 	<ul style="list-style-type: none"> ・国際化・多文化共生ビジョンでも取組の軸とされたKIFAの会員数、関連イベント参加者数に増加傾向が見られる。関係部署のご尽力に敬意を示したい。 ・国際交流のイベントはにぎわっている。
21	自然環境の保全・活用	<ul style="list-style-type: none"> ・妥当 4 ・概ね妥当 1 ・要検討 0 	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度も類似の指摘をした記憶があるが、（SDGsは環境に特化した国際目標ではないが）環境に関する施策においてSDGsを活用した取組が存在しないように読めるのは幾分奇異に思われる。 ・河川一斉清掃の時期を考えなおして市民の意識を増やしてほしい。

No	施策	評価区分	意見・コメント
22	循環型社会の構築	<ul style="list-style-type: none"> ・妥当 4 ・概ね妥当 1 ・要検討 0 	<ul style="list-style-type: none"> ・リサイクル率が低迷しているのを改善すべきと思います。 ・どこの家庭からも出るごみの量は徐々に減っている所以市民の意識は高まっている。
23	快適な生活環境の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・妥当 5 ・概ね妥当 0 ・要検討 0 	<ul style="list-style-type: none"> ・市だけでなく南河内全体での公害対策をしているのがよい。
24	魅力的な景観の形成	<ul style="list-style-type: none"> ・妥当 4 ・概ね妥当 1 ・要検討 0 	<ul style="list-style-type: none"> ・「景観に関するルール策定」はそう簡単には進まない。他にも指標に相応しい項目がないか、検討が必要と思える。 ・歴史文化遺産が多い市なので、その地域の人との深い理解が少ないように思う。
25	市街地整備の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・妥当 3 ・概ね妥当 2 ・要検討 0 	<ul style="list-style-type: none"> ・低く自己評価されているが、「コノミヤテラス」や南花台モビリティ「クルクル」の運営等々、十分にユニークな取組が展開されており、関係部署のご尽力に敬意を表したい。課題は、先進的な取組が推進されている地区の活動をどう持続可能にするのか、また、同種の取組をどのように横展開していけるかにあり、今後の取組に期待したい。 ・都市整備は一足飛びには進まない所以評価は妥当と思えるが、南花台での取り組みを他の場所にも展開されることを期待する。 ・市街化整備の実現に向けて計画がすすめられている。 ・非常に難しい事だと思いますが、市民にとって重要ですので、早急に進めて頂きたいです。
26	住宅環境の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・妥当 3 ・概ね妥当 2 ・要検討 0 	<ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな取り組みがなされているが、市民満足度から、魅力の発信がうまくいっていないように思える。 他の施策との連携が必要か。 ・人口減少の市なので、他市他県からの転入者に景観や補助金等の魅力発信が不足しているのではないか。
27	公園・緑地の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・妥当 5 ・概ね妥当 0 ・要検討 0 	<ul style="list-style-type: none"> ・アドプト・パーク・プログラム導入公園数は、コロナ禍もあったが、ここ数年のあいだで倍増しており、関係部署によるご尽力に敬意を表したい。今日、公共施設の満足度は住民参加をどう高めるかにあると思料されるため、住民参加に対する継続的な支援を期待したい。 ・公園・緑地は自治体の細かな計画見直しを実施している。

No	施策	評価区分	意見・コメント
28	道路基盤の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・妥当 5 ・概ね妥当 0 ・要検討 0 	<ul style="list-style-type: none"> ・市内道路網・地域広域道路網が進んでいることから妥当。
29	公共交通の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・妥当 4 ・概ね妥当 1 ・要検討 0 	<ul style="list-style-type: none"> ・河内長野市の長期課題でもあります。起死回生の手はないと思いますが、市民の参画を得て、啓発と併せて研究・試行を進めるべきと思います。 ・地域特性に合った交通手段を施行していると思う。
30	上下水道の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・妥当 5 ・概ね妥当 0 ・要検討 0 	<ul style="list-style-type: none"> ・施策1でも指摘したが、2024年1月の能登半島地震の教訓を踏まえ、ライフラインの耐震化についてはさらに加速化させ、計画の前倒しが求められるかもしれない。 ・大規模災害に備えた上下水道の改築を進めている。
31	商工業の振興	<ul style="list-style-type: none"> ・妥当 4 ・概ね妥当 0 ・要検討 1 	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年に作成した「企業紹介ガイドブック」を近隣高校に配布したが、実際の就職につながったのか。
32	農林業の振興	<ul style="list-style-type: none"> ・妥当 4 ・概ね妥当 1 ・要検討 0 	<ul style="list-style-type: none"> ・なぜ森林経営管理意向調査について、年次計画を見直す必要が出てきているのか、理由をもう少し詳しく書いてほしい。 ・市の特性の農林業の振興施策が多く展開されている。
33	観光の振興	<ul style="list-style-type: none"> ・妥当 3 ・概ね妥当 1 ・要検討 1 	<ul style="list-style-type: none"> ・「文化財保存・活用地域計画」との連携が必要と思います。 ・委員の目からは、河内長野市は文化遺産等が豊かにあるまちというブランドが浸透しつつあるように思われる一方、インバウンドでまさに“溢れる”感じになっている場所（委員が居住する京都はオーバーツーリズムが復活してきている）とそうでない場所があり、オンラインでの広報をさらに行なって、取り込む余地があると思われる。 ・日本遺産の寺院等は魅力あるが、お土産などがなく滞在時間が少ない。

No	施策	評価区分	意見・コメント
34	雇用の確保と就労・労働環境の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・妥当 5 ・概ね妥当 0 ・要検討 0 	<ul style="list-style-type: none"> ・有効求人倍率が目標値以上になっている。
35	都市ブランドの構築と魅力発信	<ul style="list-style-type: none"> ・妥当 2 ・概ね妥当 1 ・要検討 2 	<ul style="list-style-type: none"> ・「婚活」は都市ブランド事業の範疇でしょうか。疑問です。都市ブランドの構築は総合戦略となるので、改めて、市全体での戦略会議を構築するとともに、研究・政策開発・実施と組み直すべきでは。 ・大阪市内においても「河内長野」の広報を見ることがある。No. 33他、多くの施策との関連があると思える。 ・河内長野に愛着と誇りを感じている市民の割合がとても低い、その理由の分析がほしい。
36	協働の推進と地域コミュニティの活性化	<ul style="list-style-type: none"> ・妥当 2 ・概ね妥当 2 ・要検討 1 	<ul style="list-style-type: none"> ・超高齢化の進行と共に、地域社会の活動低下は全国的に進んでいます。即ち、住民自治の衰退が迫っているにも関わらず、モデル地区的なまちづくり支援にとどまっています。もはや次のステップに入り、市全域に住民自治の活性化を促す方向に転換すべきです。 ・丁寧に記載がなされている。ただし、「市民同士の連携や市民と行政の協働」に関する市民満足度が一時から見ると半減していることについては重く受けとめ、市民団体間の横のつながりをあらためて強化するような取組に着手すべきではないだろうか。 ・事業は効果を出しつつあるが、市民満足度はあまり高くなく、市民に実感がない、あるいは広がりを感じられていないことが問題と思える。 ・コロナ禍の為、地域まちづくり活動ができなかったのは仕方がない。
37	効果的・効率的な行政運営の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・妥当 4 ・概ね妥当 1 ・要検討 0 	<ul style="list-style-type: none"> ・「誤った民営化」の反省の時期に入っています。特に、公益的使命を没却した「指定管理者制度」適用を一斉に再点検する必要があります。 ・行政手続きの電子化の推進に期待する。
38	健全な財政運営の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・妥当 4 ・概ね妥当 1 ・要検討 0 	<ul style="list-style-type: none"> ・歳入>歳出をめざす歳入につながる事業の案件をすすめてほしい。